

「サイエンスカフェ in 静岡」第 176 話 (2024 年 7 月 25 日)

テーマ：「静岡県の水環境」

講師：宗林 留美 (静岡大学理学部地球科学科・准教授)

■ 参加人数 35 名

■ アンケート回答人数 28 名

■ ご職業

会社員：3	公務員：1	教員：1
自営業：1	主婦・主夫：3	
小学生：0	中学生：0	高校生・高専生：0
大学生・大学院生：0	その他：19	

■ 年齢

19 歳以下：0	20 歳代：0	30 歳代：2	40 歳代：2
50 歳代：2	60 歳代：11	70 歳以上：11	不明：0

■ ご住所

葵区：6	駿河区：6	清水区：8	焼津市：4
島田市：1	藤枝市：2	静岡県内その他：1	

■ この企画をどのようにお知りになりましたか。(複数回答有)

- ・継続参加による周知：19
- ・静大のサイエンスカフェホームページ：2
- ・サイエンスカフェのポスター (学校やバスで掲示されているもの)：2
- ・SNS を通じて (サイエンスカフェの Twitter を含む)：0
- ・職場などの情報回覧：0
- ・知人の紹介：2
- ・その他：3

■ 講演内容についてのご意見や感想・質問などをご自由にお書きください。 (30 歳代)

- ありがとうございました。第 38 シーズンお疲れさまでした。第 38 シーズン

でこの「サイエンスカフェ in 静岡」を知りましたが、参加できて良かったです。場所や日時も参加しやすく費用もかからず敷居が低く、最初の一步もその後も参加しやすかったです。質問にも皆さんご回答ありがとうございました。

（ 40 歳代 ）

- アベカワモチ理論、相性が良いですね。
- おもしろい研究活動の紹介、内容の解説ありがとうございました。水資源や桜エビなどは重要な資源ですので持続可能な利用ができるようにしたいと思います。

（ 50 歳代 ）

- アスタキサンチンは完全合成できないとあるが、桜エビはどこから採取しているのか？動物・植物プランクトンであろうか。

（ 60 歳代 ）

- 駿河湾に流入する河川によって「有機物」の内容が違ってくるのがわかりました。桜エビなど身近な内容の講座で楽しかったです。
- 安倍川の低い DOC 濃度については、わかりやすく面白い内容で楽しかったです。
- DOC の低濃度について仮説を紹介し、検証していくお話の組み立てが面白かった。桜エビを解体して部分ごとアスタキサンチン濃度を計測していく話、手間を考えるとスゴイ、研究者とはたいしたものです。採水したボトルのゆくえ、4 河川×12 か月→48 本、年数が増えるとななるのだろうか。海洋ポンプの話、空中の CO₂ がやがて石灰岩になるのだろうか？サンゴで石灰岩ができると思ったけれど。
- 土地により水質の内容が変わり面白かったです。
- わかりやすい説明でとても面白かったです。健康な体は栄養と運動、休養と睡眠からもたらされるので何かを食べたら長生きできるというわけでないし、栄養バランスが悪かったりしたら病気になってしまうのではないだろうか。飲み水で今不安なのは、マイクロプラスチックかな。大谷くずれ辺りは人工林から落葉広葉樹に代えていると聞きました。安倍川の水に変化があるのかな。温暖化の影響を日本はものすごく受けていると聞いたことがある。
- DOC 濃度が他の河川に比べて極端に低いのは安倍川が急流であることが現実だと思いました。

（ 70 歳以上 ）

- 今回とてもおもしろかった。ありがとうございました。

- 安倍川に感謝。
- 興味深いお話ありがとうございました。安倍川の素晴らしい水を水道水として使用できているのは幸せなことです。
- 安倍川は濁っているのに DOC 濃度が低いのは他の河川より急流のためではないかと思いました。アスタキサンチンの抗酸化作用のメリットが我々人間にとっても同じようなメリットが得られるような研究が進むことを願っています。ありがとうございました。
- 安倍川の特徴と桜エビの色素という身近ながら今まで知らなかった。新しい視点でのお話すごく面白かったです。今までと見方が変わった感じです。
- 宇宙の起源あるいは生命の起源の研究の現状について話を聞けたらと思います。
- エネルギー・水素についてご教示をお願いしたいです。